

* 前期比：D I・季節調整済

景況

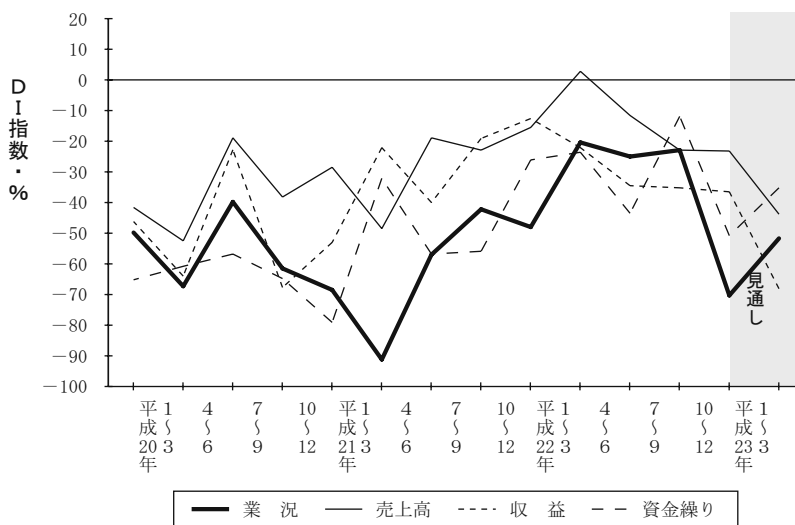
今期の業況判断DI値は-70と前期の予想DI値を11ポイント下回り、実績に比べると47ポイント大幅に悪化する結果となりました。売上は横ばいで推移、収益、資金繰りは後退しました。設備投資については、機械設備の更改で9%の先が実施し、前期に比べ横ばいで推移しました。

来期の予想業況判断DI値は-52と今期より18ポイント改善すると予想しています。売上、収益は後退、資金繰りは改善すると予想しています。設備投資については、車両で9%の先が実施、前期に比べ横ばいで推移すると予想しています。

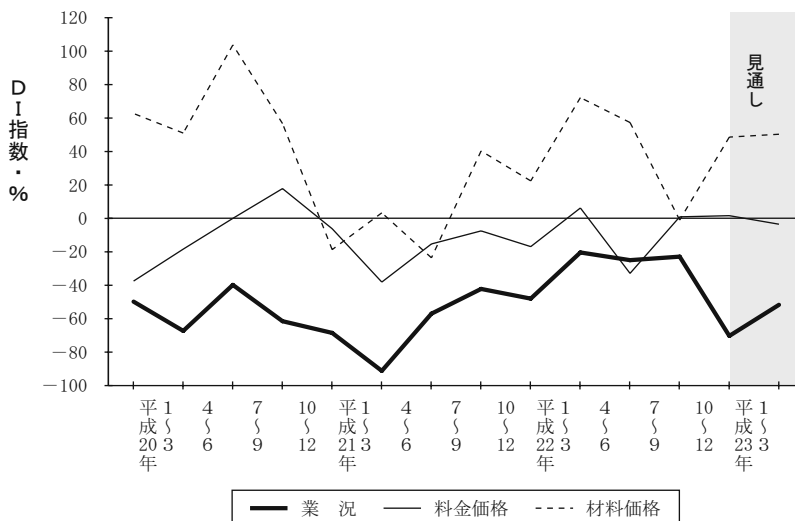
調査員のコメント

- 売上前期比横ばいのところにガソリン・ガスが高騰しており、収益に影響している。（タクシー業）
- 燃料費の高騰により、売上・収益とも減少。ここにきて資金繰りが厳しくなる。（貨物運送業）

景況の推移



主な指標の動き



残業、人手、設備状況

